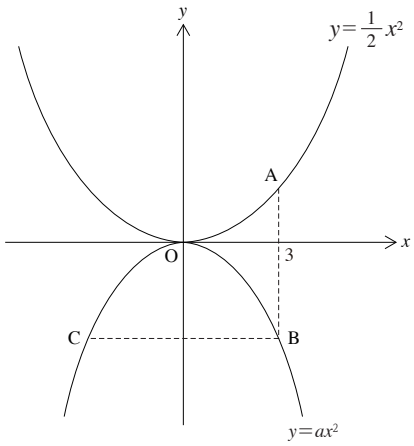
2023年度 合否の鍵はこの問題だ!!

数学　問18

$y=\frac{1}{2}x^2$…①　①に$x=3$を代入して，$y=\frac{1}{2}\times3^2=\frac{9}{2}$　よって，$A\left(3,\ \frac{9}{2}\right)$　$y=ax^2$に$x=3$を代入すると，$y=a\times3^2=9a$　よって，$B(3,\ 9a)$　$AB=\frac{9}{2}-9a$　点Cはy軸に関して点Bと対称な点だから，$C(-3,\ 9a)$　$BC=3-(-3)=6$　AB＝BCから，$\frac{9}{2}-9a=6$　$9a=-\frac{3}{2}$　$a=-\frac{1}{6}$



◎　y軸に関して点Aと対称な点をDとすると，AB＝BCが成り立つとき，四角形ABCDは正方形になることを覚えておこう。

英語　問5〜問11

語句整序問題は，確実な文法力が問われるため，苦手とする受験生が多い。一方できちんと文法を身につけておくことで，確実に得点できる問題でもあるため，差が付きやすい問題であろう。

問10は関係代名詞を用いる文である。分詞や関係代名詞のような後置修飾も語句整序には頻出である。和文と英文の語順が異なるため気をつけよう。この問題の場合には，「韓国に住んでいる」が「友達」の後に来るように単語を並べかえるようにしよう。したがって，any friends who live in Korea となる。

問11は間接疑問文を用いる文である。間接疑問文も語句整序問題にはよく出題される。普通の疑問文の場合は，When will Keiko come ? のように助動詞が主語の前に来るが，間接疑問文の語順は＜疑問詞＋主語＋(助)動詞＞となる点に注意が必要である。したがって，He knows when Keiko will come. となる。

正確な文法力を身につけるためには，過去問を繰り返し解いたり，教科書英文を暗唱できるまで繰り返し読み書きしたりすることが必要である。

D06西武台_合否の鍵_230914.indd 7　2023/09/15 11:12

国語 問22

★なぜこの問題が合否を分けるのか

本問は文章内の単語が誤ったものに変わっているため，それを正しい語に変える必要がある選択肢を選ぶ問題である。それぞれの単語の意味を理解しているかが問われるとともに，文章を正確に理解しているかどうかが試される。

★こう答えると合格できない

マークシート方式の問題であるため，適当に解答しても一定の確率で正解することはできる。しかし，それでは入試に合格することはできない。それぞれ導き出した解答について，なぜその選択肢を選んだのか，自分の中で理由づけをしておかなければならない。正答率を高めるために，また自分自身が理解するためにも，必要な工程である。

★これで合格！

問題文にある選択肢を確認すると，対義語の関係となっているものが多い。つまり，文章を読み進める中で，意味が逆手になっている箇所を見つける作業が必要である。逆に，選択肢にある正しい語を想定してあてはめて，意味が通じるかどうかを確認してもよい。 ⓘ 「人間の心の発達のプロセスとしては，ごく自然な変化といえる」であるが，これがもし「不自然」であれば，これより前の部分でそのことを述べている。「青年期になると，だれもがそんな思いに駆り立てられるようになるものだ。(中略)ふと我に返ると，『自分って何だろう？』『自分はこれでいいんだろうか？』などと物思いに耽っている自分に気づいてハッとする」とあり，青年期であれば自然な流れと筆者は述べている。 ⓒ 「典型」とは，規範によくかなっている，本質・特徴をよく表わしているさまという意味である。心理学に関する本質を著したともいえるが，「体系」にも多様なものをまとめて統一と分節をもった全体を形成していることという意味があり，全体をまとめたといえるので，必ずしも「体系」から「典型」に変える必要がない。 ⓔ 傍線部を「客体」に変えた場合，「主体であると同時に主体でもあるというのだ」という文章になり，意味が通じなくなるため不適当。 ⓞ 「自分の分裂が著しくなり，自分を見つめる自分の存在の比重が急速に増すのが青年期」という部分を，「徐々に」とすると，程度が際立っていて目立つさま，はっきりとわかるさまを表す「著しい」という意味と矛盾する。このように一つ一つの選択肢を吟味して，正答を導き出すことが肝要である。

D06西武台_合否の鍵_230914.indd 8 2023/09/15 11:12